



## 川がもたらした自然の豊かさに気づいてもらうこと

いたばし  
 ビオトープ  
 ネットワーク  
 学校訪問シリーズ 12

～クリーン・命の神秘・尊厳を感じて、取り組む～

### 板橋区立新河岸小学校

南北を新河岸川と荒川にはさまれ、左右に工場群が広がる場所に新河岸小学校がある。

川は確かな自然をもたらすが、堤防でさえぎられ、直接的に学校とつながっているわけでない。新河岸小学校の周辺はもともと、荒川の遊水池であり、潤湿な湿地帯であった。

新河岸川は 江戸時代 1644 年松平信綱が命令して、船運が江戸と川越の間で始まり、和光市で荒川と合流し板橋にはなかった川である。明治 44 年の大洪水で堤防の決壊の大修理により、荒川に平行して、荒川の蛇行の流路をつなぎ、新河岸川が開削され、全長 33.7 キロ、板橋地区では 6.3 キロを北区岩淵までつなぎ昭和 5 年ごろ完成、隅田川に流された人口の川であった。以前はアシ山があり、桜草が咲いてピンクのジュータンがしかれ、夏には月見草が黄色の花をつけて咲き誇っていたと記録に残る。昭和 30 年ごろまでは、水泳もでき、建て干し漁も行われ川はきれいだったという。



全職員による緑のカーテンのネット張り 4月27日

関東大震災後、都の復旧計画で有害な業種、危険物取り扱い工場や化学工場が許可され工場排水などで、汚染が最悪となり、区では公害課が発足。努力が続けられ昭和 47 年ごろからは水質悪化は横ばいで、今は、コイ・フナ・クチボソ・メダカ・タナゴなどが生息している。



ネット張りの協働が成功しうれしそうな速水校長(中央)と先生方

板橋区で一番緑被率が高い地域は、新河岸・舟渡地区である。(板橋区緑と公園課調査)

これは、川の自然がもたらした緑地区であり、その自然の恩恵を知らぬ間に子どもたちも享受している。このことに気づかせようと、新河岸小学校の先生方の努力が続いている。

4月も終わるころ、緑のカーテンの作業を全職員で行うと聞いて、SOEはわくわくしながら訪ねた。手際よい全職員による2階までのネット張りを見ることができた。(後記)

昨年の4年生の授業で、「荒川探検」に取り組んだ志村満隆先生や轟陽子先生に作業の後、お話を伺う。

Q どんな取り組みですか。

志村満隆先生—荒川に行って、虫、動植物、川の水、歴史をグループごとに追及しました。川がもたらした自然の豊かさに気づいてほしいからです。新河岸川は危険で入れません。しかし、野鳥や潮の満ちひきをみせ、エコポリスセンターの協力で水質検査を行うことができました。



荒川探検を指導した志村満隆先生と、学校を案内して下さった轟陽子先生

他にも、プールからヤゴを救出し、早朝出勤し明け方羽化を撮影して、成虫まで育て、大空へ飛んでいくのを見送りました。また、羽の伸びない蝶を子どもと一緒に観察し命の尊厳を感じ感動しました。今年は、5年生がオヤジの会と一緒に花壇を掘って、田んぼ作りにも取り組みました。3分の2の土を戻し、粘土・赤玉を入れたところです。(ホント出来立ての田んぼが目前にありました)

Q この取り組みで、どんなことを子どもたちが感じましたか。

志村先生—クリーンなもの・命の神秘・命の尊さを感じ、感動していました。

Q 色々な木がありますね。

志村先生・轟陽子先生—黄桜ですが、この実を野鳥たちみんなが食べにきています。ムクドリ・ヒヨドリ・オナガ・ミヤコドリなどです。プールの脇にある柿は全校の子どもたちだけでなく幼稚園・保育園にも配っています。

—続いて、作業の終わった石澤夕紀子先生・下川淳子先生の2人にお話を伺った。—

Q 石澤先生は、東京都の環境教育の研究授業者ですね。

石澤夕紀子先生—都のセンターから依頼を受け、3年生で「昆虫王国をとりもどそう」という授業を行いました。昔、高島平にカブトムシがいた。なぜ減ったんだろう。昔の写真を見せると 大気・水の汚



れに気づきました。自分たちでできることは何だろう、と考え、ビオトープを作る、ごみを減らす、草を増やすなど考えました。授業を見に来た高校の先生が、高校の生徒と同じ水準のことを、3年生が発表していると言われました。この授業はとても楽しかった。研究授業がこんなに楽しいなんてびっくりでした。子どもたちは子どもなりに良く考えている。身近なテーマにすれば子どもたちは意欲をもてるのだとわかりました。

「昆虫王国をとりもどそう」の授業者の石澤夕紀子先生（右）と緑のカーテン全体計画を指揮した下川淳子先生（左）

Q 下川先生は緑のカーテンの全体計画を作られたそうですね。

下川淳子先生—緑のカーテンは今年で3年目です。昨年は、全校で取り組みました。速水校長先生の力です。初めの年は、4年生だけで、2年目は全体計画を作り協力をお願いしました。1年目は、ネットが破れ、うどんこ病になった。昨年、台風には負けなかったが、育ちは悪かった。今年は、準備がうまくいった。全体計画が見えてきて分担が進みました。



Q 速水校長先生、緑のカーテン作りを前任校でも経験されておられますが、どのように作るのですか。

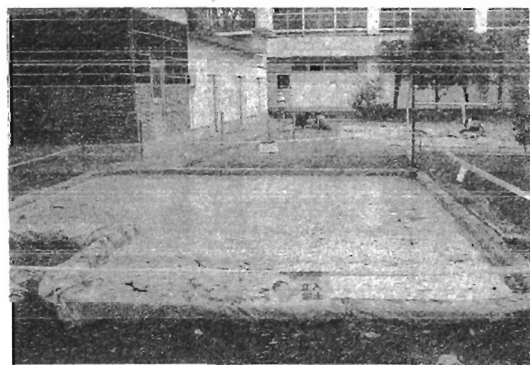
速水敏一校長先生—ネットは、作ったものは弱い。ホームセンターなどで売っている10センチ角のビニロン青を買うといいです。1.8メートルの幅のビニロンを横同士、ひもでつないでワイヤーに合わせて上にいくだけでも伸ばしていく。2クラス分で1階から、2階まで張りました。今年は、全教職員の協力で、始めてから20分で、張り終わった。本当に簡単だった。これから、植物は、ゴーヤ・ヘチマが中心。昨年は日照が短く、長雨で、伸びが悪かった。朝顔は、校長と用務員で張り、トマトは学年園で。サツマイモは1年と6年で隣に畑を借りて作っています。



ネットの一番下に直径3センチの塩ビ管を匍く  
新河岸小方式

Q 学校では、環境のほかにどんな、取り組みをしていますか。

速水敏一校長先生—学習活動で、朝のチャレンジタイム15分を週4回、11ヶ月取り組み、基礎学力向上を図っています。子どもたちは落ち着いて勉強しています。漢字や計算の学期末定着テストを実施します。この結果によっては、夏休みに個別指導の補習授業を行います。また、群読発表会に向け、学年ごとや全校で、朗読を練習し、演出家呼んで朗読のパリエーションを追及します。心の教育として、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。おかげさまで、児童数が増えて313人になりました。



校庭から地下水をくみ上げて、田んぼに水を入れていきます。  
うらやましい!



—新河岸小学校は、江戸時代から、幕府の直轄地で、新河岸川のなかつた三田線の北側あたり（団地の反対側）は有名な鷹狩の場所。將軍たちが何度も訪れた自然の豊かな地であった。米も5千俵以上上納したといわれる。先生方が生き生きとしていて、子どもたちに課題を持たせ、自然と向き合わせようと真剣にがんばっている姿は、この地の歴史に正対する道案内人のように思えた。—



# 素人が感じた水質検査のむずかしさとは？

SOEでは2006年の1年間、荒川戸田橋緑地の定点エリアにて水質検査を実施してきました。ここではその中間報告をいたします。数値的なデータは一覧表にまとめましたのでご覧ください。

水質検査は全国でもさまざまな機関・団体がそれぞれ独自の調査をしています。私たちも水質検査に関しては素人ながら、色々な資料を読み漁って稚拙ながらも自分たちのやり方で実施した次第です。そこで感じたことですが、よかった点、むずかしかった点をまとめてみましょう。

## 【よかった点】

- ・ 定期的に目的を持って荒川に触れる機会ができたこと (NPOとしてのルーティンワークができた)
- ・ 試業の扱い方を把握できたこと
- ・ 観測エリアにて野鳥観察もできたこと
- ・ 子供たちにも楽しさを伝えられたこと
- ・ 他団体との交流・連携もできたこと

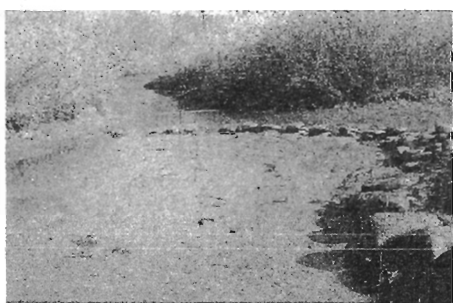
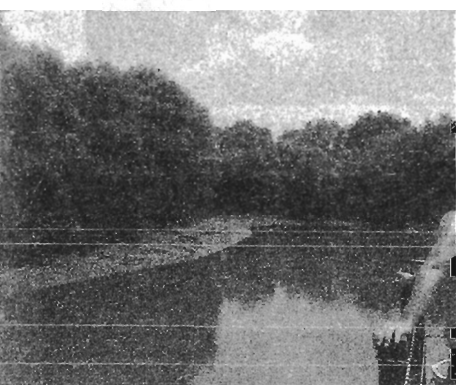
## 【むずかしかった点】

- ・ 数値を読み取る際、個人個人の感覚がちがうこと (色などの見分け)
- ・ 毎回同じ時間帯にできなかったこと (潮の満ち引きにより水量がだいぶ違い、観測した数値がどういう意味を持つかが推定できない)
- ・ このエリアに住んでいる方が流す汚水が、どの程度影響をもたらしているかが不明

とにもかくにも“若葉マーク”をつけたままの年間定点観測でした。観測した数値が極端に変わっている月もあるのですが、その原因をつきとめるまでは至っておりません。今後も勉強をしながら、定期的な荒川観測をしていこうと思います。

水質検査と一緒に野鳥観察もできる絶好のポイント

## 定点観測は荒川の板橋自然生態園で行っています。



水がひくとこのような干潟があらわれる。写真左側のプッシュからネズミを追いかけけるイタチが飛び出してきたこともありました。



子供たちと一緒に水質検査

夏のある日、対岸の水辺には体長30cmほどのカメが日向ぼっこをしていました。

		気温	採水時間	水温	透明度	pH	COD	硝酸	亜硝酸	アンモニウム	備考
		(単位: ppm)									
'06.1月	晴れ (10℃)	11:00	7.5℃	44 cm	6.75	12.0	2.3~3	0.03	0.8		前日大雨
2月	曇り (16.5℃)	15:00	11℃	41 cm	7.5	12.0	2.3	0.06	1.2		大潮
3月	晴れ (20℃)	11:20	14℃	63 cm	7.75	13.0	1.15	0.06	1.8		風強し
4月	晴れ (17℃)	10:30	13℃	33 cm	7.5	35.0	1.15	0.06	2.8		前日雨
5月	晴れ (26℃)	10:18	20℃	26 cm	7.0	16.5	1.5	0.15	10.0		前日大雨
6月	雨 (18℃)	10:00	19℃	30 cm	7.2	6.0	10	0.06	1.5		
7月	曇り (28℃)	10:00	21℃	21 cm	7.0	6.0	0.2	0.03	7.5		
8月	晴れ (36℃)	13:00	31.5℃	18 cm	7.0	6.0	1~1.5	0.075	1.5		ボラの大量あり
9月	曇り (23℃)	10:00	21℃	21 cm	7.0	8.0	3	0.03	0.75		
10月	晴れ (22℃)	10:00	21.5℃	65 cm	7.0	3.0	3.5	0.05	1.0		
11月	晴れ (18℃)	10:00	19℃	55 cm	7.0	6.0	1.5	0.03	1.5		
12月	晴れ (10℃)	10:00	11℃	61 cm	7.0	8.0	1.15	0.06	1.2		
'07.1月	晴れ (11℃)	10:00	12℃	58 cm	7.0	8.0	1.5	0.05	1.2		
2月	晴れ (9.5℃)	11:00	9℃	46 cm	7.0	5.0	1.5	0.05	1.5		カワセ三目撃

発行 特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053  
e-mail: info@npc-soe.jp url: www.npc-soe.jp